

「第 3 回 愛知県沿岸部における津波・高潮対策検討会」の開催結果について

1. 概要

本日午後 3 時 30 分から「第 3 回 愛知県沿岸部における津波・高潮対策検討会（以下 検討会）」が開催された。

第 2 回検討会において設定した想定台風（「減災レベル」：室戸台風級、「防災レベル」：伊勢湾台風級）における高潮（潮位偏差）の概略計算結果について検討を行うとともに、内閣府等が公表している想定津波高との比較を行った。

また、沿岸部における総合的な防災対策の考え方について検討を行った。

2. 検討結果

本検討会での討議事項については、承認された。主な内容は以下の通り。

○高潮（潮位偏差）の概略計算結果について

- ・「減災レベル」において想定される「高潮」と「津波」の概略比較を行ったところ、愛知県の沿岸部において、伊勢湾・衣浦湾・三河湾の湾奥部で「高潮」が、知多半島や西三河沿岸で「津波」が卓越するなど、地形と台風コースによる地域特性が見られる結果となった。また、「伊勢湾・衣浦湾エリア」は台風通過時の南風により、「三河湾エリア」は台風通過後の西風により、潮位偏差がピークとなる傾向が確認された。

（高潮については、潮位偏差の概略計算値である。今後、波浪計算等を実施し、浸水予測図区域図の作成を実施する。）

○沿岸部における総合的な防災対策について

- ・沿岸部における防災対策については、地域特性を踏まえ、各主体（自助・共助・公助）が、「ハード整備」「ソフト対策」を含めた総合的な対策を実施し、総合的な「防災力」の向上を図ることが必要である。

※ 別紙「第 3 回 愛知県沿岸部における津波・高潮対策検討会 検討会資料」参照

3. 主な意見

委員からの主な意見は、以下のとおり。

- ・ 今回の高潮計算は暫定推算値であり、今後、氾濫計算等を進めながら、精度のフォローアップをしていくこと。
- ・ 高潮浸水予測図は、地域や住民がわかりやすく、ハザードマップ作成など自主防災に活用できる情報を提供することが重要である。
- ・ 減災レベルの総合的な防災対策については、公助に加えて自助・共助の育成が重要である。